

第27号

(2014年10月8日発行)

発行:中央大学学員会 出版白門会

CONTENTS

(お名前は敬称略)

- ▽第15回定期総会開催
- ▽出版白門会関連行事予定
- ▽総会・懇親会クイズより
- ▽自由でまったりな街歩きを楽しんだ
…松村 美香
- ▽出版白門会へようこそ
- ▽会員個人が企画するイベントもまた楽しい…加藤 守
- ▽中大の偏差値はなぜ下がっているのか
…高橋 昭弘
- ▽出版界・白門同窓の輪…弦巻ゆかり
- ▽決算報告・新年度予算
- ▽平成26年度役員紹介
- ▽頑張っています！中大運動部
- ▽懇親会クイズの解答
- ▽告知板
- ▽編集後記

出版白門会の関連行事予定

- ①会報発行 10月8日
- ②箱根駅伝予選会応援 (於:立川)
10月18日(土)
※出版白門会の応援に参加希望の方は同封参加申込書をご連絡下さい。
- ③ホームカミングデー (於:中央大学多摩キャンパス)
10月26日(日)
～～秋～～ 読書推進活動
- ④第14回能楽鑑賞会
11月8日(土)/12時開場、13時開演
会場:国立能楽堂(渋谷区千駄ヶ谷4-18-1)/JR千駄ヶ谷駅より徒歩5分
演劇曲:「安達原(あだちがはら)/白頭・急進之出」・演者「観世 清可寿(観世流)」
狂言:「伯母ヶ酒(おぼがさけ)」・演者「小笠原 匡(和泉流)」
解説:馬場 あき子(歌人)
入場料:2,500円(会員・同伴者特別料金)
※「申し込み方法」「内容詳細」は同封の申し込みチラシで…
- ⑤名湯めぐりの会
11月29日(土)～30日(日)
会場:万座温泉(日進館)
※申し込みは同封参加申込書で…
- ⑥地図を通して知る東京(文学散歩または歴史散歩)
12月上旬
※詳細が決まり次第、会員メールにてご案内いたします。
- ⑦箱根駅伝応援(予定)
1月3日 復路ゴール前
- ⑧出版白門会新年会と懇親会
1月23日(金)18時30分～
会場:日本出版クラブ会館、会費:6000円
※後日、出欠確認を兼ねたご案内をお送りします。
- ⑨出版関連セミナー
- ⑩会員交流花見(於:靖国神社)
3月28日(土)17時現地集合(予定)
※詳細は後日会員メールにてご案内いたします。

総会・懇親会クイズより

【第1問】国際化時代、大学もそれに対応できる環境ができてきているかは、大学のステイタスを判断する上での大きな要素になっています。

中央大学もそのような時代の要請の中で、世界20ヶ国の多数の大学と「海外協定校」の協定を結んでいます。

ここで問題です。以下の国の中で、最も多くの大学と協定を結んでいる国は次のどの国でしょうか？

- ①イギリス ②アメリカ ③韓国 ④中国

【第2問】オリンピック大会に、かつて中大関係者が多数参加し、活躍していますが、中大の選手でオリンピック大会で最初に金メダルを取ったのは次の誰でしょうか？

- ①アニマル渡辺 ②円谷幸吉 ③桜井孝雄 ④石井庄八

【第3問】駿河台の「秋元」子爵邸跡地に昭和10年に建設された中大創立50周年記念講堂は、収容人員5,196名の威容を誇り、大講堂と呼ばれ親しまれました。この講堂は学校行事のみならず、外部の行事にも使用されましたが、政党の結党大会等にも使用されています。

さて、それでは記念すべき結党大会を中央大学講堂で挙行した政党は以下のどの政党でしょうか？

- ①自由民主党 ②日本社会党 ③民主社会党(党首、西尾末広で今の「社民党」ではありません) ④日本民主党(保守合同前の自民党の前身です)

出版白門

<http://pub-hakumon.jimdo.com/>

● 出版界に出版白門の知恵と情熱を！ ●

第15回定期総会開催

第15回定期総会が7月24日(木)、猛暑の中、来賓に大村雅彦常任理事、大木田守学員会副会長を迎え、39名の出席者を集め、出版クラブ会館で開催された。

濱田博信会長の開会挨拶に続き、議事に移り、25年度事業報告、決算報告、26年度活動方針、予算の4議案について報告・提案が行われ、全議案が原案通り承認可決された。なお26年度役員については改選期でない為、濱田会長以下20名の役員・幹事が改めて確認された。

第二部の懇親会では、来賓の大村常任理事より、中央大学の近況として、深澤新理事長の就任、グローバル人材の養成が世界に向け、大

きな展開を遂げつつある事、大木田副会長より、231ある学員会のネットワークを強化して、来年の130周年に向けていく事が、挨拶で述べられた。続いて森武文理事の乾杯で、懇親会がスタート。初参加者紹介では、今年の卒業生を含め、4名が自己紹介を行い、会場からは盛大な歓迎の拍手が起きた。恒例の「テーブル対抗中大クイズ大会」では、来賓の2名にも参加戴き、中大に関する難問に頭を捻りながら、大いに盛り上がりを見せた。最後は、恒例の土屋隆一事業委員長の歌唱指導による校歌の斉唱、安部英行理事の中締めで名残を惜しみつつ閉会となった。



談笑の聲が広がる懇親会場



来賓の大村中央大学常任理事と大木田中央大学学員会副会長(右)



森岡氏の小説で盛り上がる2次会

出版白門会ホームページアドレス <http://pub-hakumon.jimdo.com/>

facebook 出版白門会サイトへのアクセスは検索サイトの「出版白門会(中央大学学員会職域支部)」から…

子供の頃から寄り道が好きだった私は、出版白門会から街歩きの案内を頂き、すぐに参加を決めた。10年ほど前、母に付き合っ
て根津から不忍の池へ抜ける1日ツアーに5千円くらい払って参加したことがあり、いつか再びこの辺りの歴史散歩を実現したいと思っていた。

出版白門会のコースは根津駅南口→弥生美術館と竹久夢二美術館→弥生式土器発掘場所→佐藤ハチロー居住跡地→根津神社



根津神社前で…

→観湖楼跡鴟外記念館→千駄木駅→へびみち旧藍染川→三浦坂→大名時計→みかどパン・ヒマラヤ杉→日本美術院→谷中墓地・徳川慶喜の墓→日暮里駅→夕焼けだんだん・谷中銀座→懇親会（17時30分頃：参加自由）というもの。300円の資料代のみなら言うことなした。

5月17日は気候も良く、参加者の皆さんとおしゃべりをしながら、コースを少し外れたり、時間がなからとすっ飛ばしたり、今川焼を食べながら歩いたり、と、自由でまったりな街歩きを楽しんだ。しかも、社会起業家(?)の広石拓司さんのプレゼンを聞いて谷根千地域の基礎知識を得、案内人の小竹正倫氏から歴史的説明も聞けるという知的好奇心を十分に満たしてくれる贅沢なプログラム。森鴎外や徳川慶喜が歩いた小道を、歴史を語りながら歩く。それだけで、時空を超えた文化人の気分を味わえた。

次回は12月に赤穂浪士ゆかりの地域を散策する予定とのこと。300年前に心を馳せる街歩きが今から楽しみです。



徳川慶喜の墓所前で本を朗読。

株式会社 エンパブリック

東京都文京区弥生 2-12-3 2F/3F
www.empublic.jp
代表取締役 広石拓司

出版白門会へようこそ

(アイウエオ順)

大見山 琢生 日本出版販売 1984年 経済学部卒

大見山 琢生(おおみやま たくお)と申します。学生時代はソフトテニス部(当時は軟式庭球部といいました)に所属し、教室よりテニスコートで長い時間を過ごしていました。卒業とともに日販に入社し、今日に至っています。この度、会社でも読書推進に携わる機会を頂きましたので、出版白門会を通じて、多くの同窓かつ同業界の方々との出会いが楽しみです。だいふ「臺が立った新人」ですが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



菊池 諒 モリサワ 2008年 法学部卒

菊池 諒(きくち りょう)と申します。中大附属高校から中大法学部へ進学し2008年に卒業致しました。フォントのモリサワに入社し、現在は、電子書籍本部にてApple社Newsstandにて国内最多数の電子雑誌アプリ配信をしております。1誌のみで年間1億円を超えるデジタルコンテンツなどをご支援しつつ、デジタルから紙・店舗へ結びつけるOtoOの研究もしておりますので、皆様のお役に少しでも立てれば幸いと存じます。



齋藤 毅 平河工業社 1997年 文学部卒

齋藤 毅(さいとう ぎ)と申します。平河工業社という、光学機器の設計・製造からスタートし、現在は印刷会社として出版界の皆様と一緒に仕事をさせて頂いている社に勤めております。此度、幸運なことに会にお誘い頂き、総会に出席させて頂きました。普段中々お会いすることが出来ない出版業界の有名な先輩・同門の方々とは非常に楽しいお話をさせて頂くことが出来、感激でした。これからも、この会にて中央大学に再入学したつもりで、楽しく！厳しく！勉強させて頂きたく思っております。どうぞ、宜しくお願ひ申し上げます。



萩原和彦 中央社 2014年 経済学部卒

萩原 和彦(はぎわら わづか)と申します。まだまだ社会人になったばかりでして、総会では緊張、恐縮の限りでしたが、皆様とても暖かい雰囲気でご接し下さり、とても楽しく、貴重な時間を過ごすことができました。また総会で校歌を歌った際には皆様との繋がりを感じ、一際良いものだと思えました。この繋がりを大切にして、諸先輩方からいろいろと勉強させていただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



会員個々人が企画するイベントもまた楽しいー是非ご提案、ご参加をー

会には、いわゆるオフィシャルな行事以外にも、有志がそれぞれの趣味の分野で企画するものがある。これまで実施したものの中から、幾つか取上げてみる。

1. 音楽では

- (1) はじめてのクラシック～中・高生のために～
(サントリーホール)；案内役・三枝成彰、指揮小林研一郎(東京交響楽団)
- (2) 新宿ブルースナイト(新宿野外テント)；原田芳雄、よこやまよしひろ、宇崎竜童ほか
- (3) 石橋 幸コンサートーロシアアウトカーストの唱たちー(紀伊国屋ホール)

2. 舞台では

- (1) リア王(座高円寺1)；万有引力、J.A シーザー
- (2) 廃墟の鯨(花園野外テント)；椿組
- (3) 即興劇(インプロビゼーション)；高安智実ほか

3. 朗読では

- (1) 白石加代子；百物語ー泉鏡花、三島由紀夫ー(浅草公会堂)

4. 美術館では

- (1) 唐招提寺金堂荘厳展ー平成の大修理；よみがえる天平の彩りー平成遷都1300年祭 多摩美術大学美術館

5. 養蜂観察では

- (1) 多摩美術大学美術館屋上；多摩ミツバチプロジェクト 等々



花園野外テント「椿組公演」にて

この様に、会員が色々企画しているものがある。勿論参加は自由。イベントの後は、芸術の神でもあり、お酒の神様でもあるディオニッソス神に乾杯だ！そして出版界の将来についての真面目な議論も！？

(広報：加藤)

■ 会員に参加募集告知をしたいイベントがありましたら、以下のアドレスをご活用ください。
出版白門会メインアドレス：pub.hakumon@gmail.com

中大の受験志願者が毎年減っている。そして、それに呼応するかのように偏差値もダウンしている。中大は、MARCHというグループにランク付けされているが、最近ではその中でも人気度が落ち、他大の後塵を拝している。大変残念だ。受験関連の企業に籍を置く立場から、私なりにその原因を分析してみたい。

偏差値が下がっている背景と思われるのが、入試において旧帝大クラスからの併願者が減少していること、そして、法学部を筆頭に指定校推薦で入ってくる学生が多い(MARCHの中では指定校推薦での入学者がダントツ)ことである。学力のある一般入試組の受験者が少なくなってきたのではないか。このことは、大学の人気落ちていることと表裏の関係にあるように思う。ダブル合格した場合、法学部や商

学部会計以外では中央を選ばないという事例が多いのもその証である。

各大学が学生確保に鎬を削っている中、中大はその魅力回復のためにどうすればいいか。

例えば、MARCHの中、中大以外は都心回帰や新学部設置を進めている。都心にキャンパスがあることが受験生にとってどれほど魅力的なことかは、現状を見れば一目瞭然だが、簡単に解決できる問題ではない以上、後楽園キャンパスの有効活用や、魅力ある大学改革に至急着手していく必要がある。国際教養学部によるグローバル教育の充実、人間科学部(スポーツ科学あり)による体育会部の強化で大学のイメージアップ。慶応が2008年に共立薬科大と法人合併し、薬学部を創ったように、医大と合併して医学部をつくる等々、新学部創設は重要課題だ

と思う。

入試改革でもまだやることはある。一例を挙げれば、2014年度の私立大学出願者数で日本一になった近畿大学の場合、同大学の広報的な戦略も効果があったが、紙の出願から全面的にNet出願に変えたことで成功している。

私も、妻も、いとも中大出身である。本当に中大を愛しているし、これからも仕事も含めいろいろな角度から中大に貢献していきたいと思っている。母校においても、あらゆる面で、大胆な改革を推進してほしい。



■今回は東京四季出版で編集の仕事に携わっている、弦巻ゆかりさんにお話を伺いました。

一どのような大学生活でしたか?一

九州の小倉出身ですが、大学入学の年にたまたま家族が東京に引っ越すことになったので、大学時代はずっと家族と一緒に過ごしました。子供のころからグリム童話が好きでしたし、よくドイツ文学を読んでいましたので興味が有り、大学受験も独文がある大学を基準に選びました。

2年の時から吹奏楽部に入り、それからはサークル中心の大学生活でした。中学の時から吹奏楽部でクラリネットを演奏していましたが、全国大会でいつも金賞を取るような憧れの中大吹奏楽部に入ることができ嬉しかったです。私達も全国大会で金賞を取ることができました。

一その他の思い出は?一

文学部が入っている大学の3号館から見る夜景がすごくきれいで、今でも強く印象に残っています。大学3年生の春休みに、教授に紹介してもらって、2ヶ月間、ベルリンやミュンヘンなどドイツの3都市の家庭にホームステイした事は、その後の旅行も含めて、とてもいい思い出であり得難い体験でした。

一出版とのこれまでの関わりは?一

高校くらいから出版関係の仕事をしたと思っていました。大学卒業後、最初に就職したのは印刷会社でしたが、すごくいい

会社で、研修をしっかりとやってくれたおかげで印刷や紙の知識をしっかりと学ぶことができました。その後出版社で仕事をする中で、その経験が大変役に立ちました。

一東京四季出版での仕事は?一

刊行物のジャンルは、短歌関係もありますが、俳句関係がほとんどで、その句集の編集をやっています。未経験の分野だったために、今は一生懸命に勉強中です。まずは季語の知識が必須ですが、「桜=春」「月=秋」など季節感のある名詞だけでなく、「涅槃=春」「涼し=夏」「竜天に登る=春」など信じられないような季語も多く、歳時記を常時めくりながらの仕事です。句会にも1度参加しました。兼題にしたがって、前もって句を作って参加しなければならなかったのですが1句しか作れませんでした。これが生まれて初めて作った俳句です。

一自費出版が多いようですが、その内容について教えてください。一

自費出版の場合普通の商業出版と違う点はたくさんあるのですが、例えば本の装丁などは通常出版社が決めるものですが、自費出版の場合は著者が決めます。細かい注文もあり、最初に提示した数案が没になることもあります。一頃より発行点数が落ち、今は月に約4点の句集を出しています。1冊の本は原稿を受け取ってから3か月くらいで仕上げます。

一休みの時の過ごし方は?一

(俳句については) まだまだ勉強中の身で



です。季語や旧仮名遣いを辞書で調べながら勉強することが多く、それで休日がつぶれることが多いですね。自費出版ではあっても、会社名で発行する以上、季語や仮名遣い等、ルールに従い直してもらわなければならないので、主宰の先生の句集といっても、間違いは指摘しなければならず、それには相当知識が必要で、勉強の日々です。その合間に趣味のお菓子作りなどもやっています。

一今後の目標は?一

自分で企画した本を作りたいですね。

一出版白門会についての感想は?一

最近ではしっかりしたホームページになっていますが、入会当初はホームページがずっと更新されてないのを見て、ちゃんと活動しているのかなど不安でした。中に入ってみると、皆さんが役割分担にしたがって、すごくしっかり活動しているなと思いました。年代層も厚くなってきていますので、今後に期待したいですね。

決算報告・新年度予算

中央大学学会出版白門会 平成25年度決算報告

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

収入の部 (単位: 円)		
科目	決算額	摘要
前年度繰越金	563,187	前年度からの繰越金
会費収入	280,000	年会費5,000円×55人、新入会費1,000円×5人
その他収入	560,000	総会費、新年会費、学員会祝金など
(内訳) 総会費	278,000	6000円×40人、2次会費、学員会祝金
新年会費	243,000	6000円×35人、2次会費、書籍売上金
その他	39,000	電子書籍セミナー参加費1500円×26人
支部活動支援費	50,000	支部活動支援費
寄付	63,530	幹事寄付
雑収入	176	会計口座利子
総計	1,516,893	

支出の部 (単位: 円)		
科目	決算額	摘要
事業費	879,979	総会関連費用、理事会関連費用、新年会関連費用、会報製作費他
(内訳) 総会費	332,241	平成25年7月23日
理事会費	15,750	平成25年7月23日
新年会費	318,006	平成26年1月24日
幹事会費	14,300	
会報製作費	172,782	会報24号、25号製作費、発送料他
その他事業費	26,900	能産賞関連費用、電子書籍セミナー第3回関連費用など
事務費・雑費	4,748	振込手数料など
慶弔費	0	
交際費	10,000	ホームカミングデー提供品代(ホームカミングデー中止により、新年会にて使用)
繰越金	622,166	次年度への繰越金
総計	1,516,893	

中央大学学会出版白門会計
島崎 修
藤原 隆通
中央大学学会出版白門会計監査
矢下 晴樹

中央大学学会出版白門会 平成26年度予算

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

収入の部 (単位: 円)		
科目	予算額	摘要
前年度繰越金	622,166	
会費収入	330,000	入会金1,000円×5人、年会費5,000円×65人
その他収入	580,000	総会費、新年会費、その他事業参加費他
(内訳) 総会費	282,000	6000円×47人
新年会費	258,000	6000円×43人
その他	40,000	その他事業会費など
支部活動支援費	50,000	支部活動支援費
寄付	15,000	幹事寄付他
雑収入	200	会計口座利子など
合計	1,597,366	

支出の部 (単位: 円)		
科目	予算額	摘要
事業費	916,200	会報製作費、総会費、その他の事業活動費
(内訳) 総会費	330,000	
理事会費	16,200	
新年会費	330,000	
幹事会費	10,000	
会報製作費	180,000	年2回(4月、10月)発行予定
その他事業費	50,000	講演会費、事業費、名簿作成費など
事務費・雑費	10,000	事務用品、交通費、振込手数料等
慶弔費	20,000	
交際費	30,000	学員会出席祝儀、ホームカミングデー賞品など
繰越金	621,166	翌年度以降に繰り越すべき会費等
合計	1,597,366	

中央大学学会出版白門会計

平成26年度役員紹介

会長 濱田 博信 (日本図書普及)
副会長 朝妻 伸雄 (集英社 OB)
風間賢一郎 (中央社)
理事 雨谷 正己 (協和出版販売)
後藤 武 (彰国社)
安部 英行 (学事出版)
一戸 裕子 (羊土社)
鹿谷 史明 (ダイヤモンド社)

理事 森 武文 (講談社)
金田 徹 (日本出版販売)
幹事長 竹林 聡 (日本出版販売)
副幹事長 白石 紀一 (檜書店)
書記 利根川伸行 (TONEGAWA)
弦巻ゆかり (東京四季出版)
会計 島崎 修 (ディスカバリー)
藤原 隆通 (日本経済新聞出版社)

会計監査 矢下 晴樹 (中央社)
組織委員長 阿部 信行 (トーハン)
事業委員長 土屋 隆一 (IPCビジョン)
広報委員長 丹田 公和 (ブリッジ)
顧問 上瀧 博正 (全国出版協会)
顧問 小竹 正倫 (地図協会)

頑張っています!
中大運動部

- 【8月】 準硬式野球部 「全日本学生準硬式野球選手権大会」で優勝。日本一に
【6月】 ソフトテニス部 「東日本大学対抗ソフトテニス競技大会」で優勝
【5月】 ①陸上競技部 「関東学生陸上競技対校選手権大会」の4×400mリレーで優勝
②バレーボール部 「春季関東大学バレーボールリーグ戦」で全勝優勝
③重量挙げ部 「全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会(56kg級)」で権田選手優勝

懇親会クイズの解答

- 【第1問】(正解) ④中国です。
因みに①イギリス7校、②アメリカ21校 ③韓国16校に対し、中国は32校です。
その他、ドイツ8校、フランス7校、台湾6校、ベトナム8校などとなっています。

- 【第2問】(正解) ④の石井庄八で1952年のヘルシンキ大会でした。
石井庄八とアニマル渡辺はレスリング、円谷幸吉はマラソンで銅、桜井孝雄はボクシングで、渡辺と桜井の金は、いずれも1964年の東京オリンピックです。
【第3問】(正解) ①の自由民主党です。
昭和30年(1955年)11月15日に自由民主党は結党大会を中大講堂で挙行了しました。

告知版

■「箱根駅伝2014予選会」のご案内

日程: 2014年10月18日(土) 時間: 9時35分スタート(昨年と同じ場合)
コース: 陸上自衛隊立川駐屯基地→立川市街地→国営昭和記念公園の20km。
参加人数と距離: 各大学12名が20kmを走り、上位10名の合計タイムで争う。
通過校数: 9校が通過。(参加予定校のうち有力校は14校)
※出版白門会の応援計画詳細は同封チラシをご覧ください。

■今年度より前・出版白門会理事の川野辺(雨宮由希夫)氏が「歴史時代作家クラブ選考委員」に就任
選考委員長は三田誠広氏で選考委員は六名。同氏他に、文芸評論家の菊池仁、細谷正充、末岡善己の三氏。詩人の森川雅美氏、編集者の加藤淳氏の各氏です。

■①出版白門会ホームページのご案内

アドレスは<http://pub-hakumon.jimdo.com/>です。GoogleやYahooといった検索サイトで「出版白門会」を検索すると上位にヒットしますので、そこからのアクセスも可能です。最新の活動情報などを更新していますので、是非アクセス下さい。

②出版白門会事務局へのご連絡は下記メールアドレスをご利用ください。

E-mail: pub.hakumon@gmail.com です。

■会費未納の皆様へのお願い(年会費金額¥5,000)

①下記口座へ本年度会費のお振込みをお願いいたします。

郵便振替口座記号番号 00180-8-600659

加入者名 中央大学学会出版白門会

専用振込用紙がなくても、直接郵便局の窓口やATMでも手続きができます。ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方は、ゆうちょダイレクト(パソコン、携帯、スマホなど)もご利用いただけます。

②他行(銀行など)からの振込みをされる場合は下記口座をご指定のうえ、手続きして下さい。

ゆうちょ銀行 当座預金

店名(店番) ○ー九(ゼロイチキユウ)

口座番号 0600659

口座名義 チュウオウダイガクガクインカイシュツパンハクモンカイ

出版白門会は皆様の会費のみで運営しております。ご協力のほど何卒よろしくお願いたします。

編集後記

平日の午後の電車は意外に混んでいた。読む物が無くなって手持無沙汰に見回した車内は、前も横も上もスマホを覗き込む人、人、人……。お馴染みの風景とはいえ、本や雑誌や新聞を読む人で混んでいた昔が懐かしい。もっともスマホを覗いている人にも、メールやゲームだけではなく、ひょっとしたらスマホで本や雑誌や新聞を読んでいる人がいるのかもしれないが、外見では残念ながらわからない。立っている人の間から見えた反対側の席に、かなり読み込んだ文庫本を一心に読んでいる少女が見えた。なんだかほっとすると同時に、林真理子さんがかつてエッセイに書いていた「人が電車の中で携帯メールを打っている姿と、文庫本を読んでいる姿では、圧倒的に後者の方が素敵ではありませんか」と言う文を思い出した。幼児や小中学生の読書推進には熱心な出版業界だが、「本を読んでいるあなたは美しい。かつこいいよ」と本を読む若者に、もっとエールを送ってやれたらと思う。(丹田)